



## 学校教育目標

### 自ら学び・考え・行動する子どもの育成

～人とつながり、未来を創造する子をめざして～

令和7年3月  
京都市立大宮小学校  
校長 松下 智洋

## ～令和6年度 第2回学校評価の結果をお知らせします～

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。『確かな学力』に関する質問6項目、『豊かな心』に関する質問6項目、『健やかな体』に関する質問5項目、『GIGAスクール構想』に関する3項目、計19項目のアンケートをとらせていただきました。その中でいくつかの項目に着目し、令和6年度第1回の評価と比較してご報告させていただきます。

### 学校評価結果（保護者・児童）

・ポジティブ→「よくできている」「だいたいできている」 ・ネガティブ→「あまりできていない」「できていない」

R6年第1回比で、大きく下がっている「青」→下線の文言が今年度後期に課題となった項目

保護者アンケート	実現度		児童アンケート	実現度			
	ポジティブ	ネガティブ		ポジティブ	ネガティブ		
お子さんは学習することがおもしろい、楽しいと言っていますか。	R5第1回	80%	19%	学習することがおもしろい、楽しいと思うことがありますか。	R5第1回	93%	7%
	R5第2回	79%	21%		R5第2回	94%	6%
	R6第1回	75%	25%		R6第1回	89%	11%
	R6第2回	75%	25%		R6第2回	85%	15%
お子さんは授業でわかったり、できるようになったりすると言っていますか。	R5第1回	87%	13%	授業でわかったり、できるようになったりしますか。	R5第1回	95%	5%
	R5第2回	87%	13%		R5第2回	96%	4%
	R6第1回	85%	15%		R6第1回	94%	6%
	R6第2回	87%	13%		R6第2回	95%	5%
お子さんは家庭で、主体的に宿題や自主学習に取り組んでいますか。	R5第1回	72%	28%	家で宿題や自主学習に取り組んでいますか。	R5第1回	94%	6%
	R5第2回	73%	27%		R5第2回	92%	8%
	R6第1回	73%	27%		R6第1回	93%	7%
	R6第2回	71%	29%		R6第2回	91%	9%
お子さんは、物事を正しく判断し、意欲的に取り組もうとしていますか。	R5第1回	88%	12%	授業では、めあてに向かって、自分で考え取り組んでいますか。	R5第1回	91%	9%
	R5第2回	86%	14%		R5第2回	91%	9%
	R6第1回	84%	16%		R6第1回	91%	9%
	R6第2回	86%	14%		R6第2回	87%	13%
お子さんは家庭で本を読んでいますか。	R5第1回	45%	55%	学校や家で本を読んでいますか。	R5第1回	71%	30%
	R5第2回	42%	58%		R5第2回	67%	33%
	R6第1回	44%	56%		R6第1回	76%	24%
	R6第2回	45%	55%		R6第2回	66%	34%
お子さんは自分によいところがあると思っていますか。	R5第1回	91%	9%	自分にはよいところがあると思いますか。	R5第1回	88%	12%
	R5第2回	90%	10%		R5第2回	86%	14%
	R6第1回	93%	7%		R6第1回	85%	15%
	R6第2回	94%	6%		R6第2回	86%	14%
お子さんは教職員が相談に親身に対応していると感じていますか。	R5第1回	89%	11%	困ったことがあつたら、先生に相談できますか。	R5第1回	86%	15%
	R5第2回	86%	14%		R5第2回	81%	19%
	R6第1回	87%	13%		R6第1回	80%	20%
	R6第2回	85%	15%		R6第2回	79%	21%
お子さんは外遊びや運動をしていますか。	R5第1回	84%	16%	外遊びや運動をしていますか。	R5第1回	88%	12%
	R5第2回	82%	18%		R5第2回	90%	10%
	R6第1回	82%	18%		R6第1回	86%	14%
	R6第2回	80%	20%		R6第2回	85%	15%
お子さんは健康に気をつけて、早寝、早起き、朝ごはんを心がけていますか。	R5第1回	85%	15%	早寝早起き朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	R5第1回	86%	14%
	R5第2回	86%	14%		R5第2回	84%	16%
	R6第1回	88%	12%		R6第1回	84%	16%
	R6第2回	85%	15%		R6第2回	83%	17%
お子さんは栄養バランスを考えた食事をとることを大切だと考えていますか。	R5第1回	79%	21%	栄養バランスを考えた食事をとることは大切だと思いますか。	R5第1回	96%	4%
	R5第2回	82%	18%		R5第2回	96%	4%
	R6第1回	79%	21%		R6第1回	97%	3%
	R6第2回	81%	19%		R6第2回	96%	4%
お子さんの学校でのコンピュータなどのICT機器の活用に学習効果を感じることができますか。	R5第1回	85%	15%	タブレットをつかうことは、がくしゅうのたすけになりますか。	R5第1回	96%	4%
	R5第2回	83%	17%		R5第2回	95%	5%
	R6第1回	80%	20%		R6第1回	95%	5%
	R6第2回	78%	22%		R6第2回	95%	5%
お子さんは正しくコンピュータなどのICT機器を使うための情報モラルは身についていると思いますか。	R5第1回	76%	24%	スマホやタブレットをつかうときのルールやマナーについてかんがえることができますか。	R5第1回	97%	3%
	R5第2回	77%	23%		R5第2回	97%	3%
	R6第1回	71%	29%		R6第1回	95%	5%
	R6第2回	69%	31%		R6第2回	94%	6%

## 全体から

第2回においてもほとんどの項目でポジティブ評価が80%~90%となりました。今年度の第1回との比較においても、大きな変化はなく引き続き学校教育、家庭教育共に推進されていることが読み取れます。特に「授業でわかったりできるようになったりする」と感じている子の割合も非常に高く、学習面でも成長している様子がみられました。

一方で、第1回の結果と同様に、子どもが感じる「学習する楽しさ」は下降傾向（前回比4%下降の85%）にあります。前述のように授業での内容の理解度は高く出ていますが、理解をすること自体への喜び、「達成感」が生まれにくい授業になっているかもしれません。あるいは、学習内容の定着だけに偏ったタブレットPCの活用によって、無味乾燥な学習が進行している可能性が示唆されているのかもしれません。これは「タブレットPCが学習の助けになると感じる子たちが95%」と「学習の楽しさの下降傾向」との関連で推察されます。もちろん、デジタルドリルの活用は、苦手分野をPCが分析し、克服すべき問題をレコメンド（提案）する仕様であることから、習得が容易になっているメリットはあります。しかし、探究的な学習にPCを活用できる事例は示されていることから、学校はICT活用の次元を上げていけるように尽力する必要があります。今後は、目標に向かって課題を解決していくような、問い合わせが単純な関係ではない授業を展開していくようにしたいと思います。加えて、子たちの「わかった」が増えるだけでなく、知識の理解の質が上がったり、学ぶことの楽しさ、喜びが感じられたりするような授業も目指していきたいと思います。

学校は引き続き、「豊かな心の育成」のためにも、「確かな学力の育成」に着目し、子ども一人一人を大切にした、全ても子どもが活躍できる授業、個に応じた指導の充実を図っていきます。さらに、「学ぶ楽しさ」に重点を置き、学びの充足感を得られるように家庭と連携をとりながら子たちの成長を支援していきたいと考えています。

## 「生きる力」の3つの要素から

### 『確かな学力』の育成に向けて

第2回においても「授業でわかったり、できるようになったりする」の項目では、児童の実感は95%を示しています。加えて、「家で宿題や自学自習に取り組んでいる」の項目でも90%を超えていいます。引き続き、本校の目指す子ども像の「自ら学び、考え、行動する子」に近づいていくことを示唆しています。

一方で、「学習がおもしろい、楽しいと思う」児童の割合が85%で、かつ「授業では、めあてに向かって、自分で考え、取り組んでいるか」の項目では肯定的な回答が90%を下回っています。今後は、授業の改善の中で、自分で考えたことが、正解不正解という閉じたゴールではなく、考えたことによって、視野が広がったり、視座が上がったりすることを実感できるような展開にも重点をおいていきたいと思います。

今後も、繰り返し学習によって基礎・基本の学力向上を図りつつ、児童が定着した力を試すことができるような問題解決的な学習も充実させていけるようにしていきたいと思います。



### 『豊かな心』の育成に向けて

児童が「自分に良いところがある」と感じているのは86%で、依然10%以上の子が自身のよいところに気づけていないことがわかります。「困ったことがあったら先生に相談できているか」の項目でも、20%以上の子たちが自分の困りを満足に発信できていない現状を示しています。保護者の方も同様に感じておられるこどもも表れています。

今年度は「特別活動」や「道徳」の学習を通して「自己指導能力」の獲得を目指してきました。学級での話し合い活動を通して、他者を尊重する意識や、集団の中での自己の役割に目を向けることを醸成してきました。道徳の学習では、自分自身、他者、そして社会との関わりの中で心の成長を促してきました。今後、ここで得られた成果を、子たちの自己肯定感、自己有用感の向上に生かし、教員もしっかり子の成長を見とれるようにしていきたいと思います。

保護者の皆様におかれましても気になることは担任だけでなく、相談しやすい教職員にご相談・ご連絡ください。

### 『健やかな体』の育成に向けて

生活習慣について尋ねる項目では、肯定的な回答が第1回に引き続きやや低い傾向にあります。今年度の保健指導でも「睡眠、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣の大切さ」について指導してきたところではありますが、取組をさらに進めていきたいと思います。「栄養バランスを考えた食事」の項目については、ご家庭での食育支援はもちろんのこと、今年度から再開した「ランチルーム」で味わった楽しい雰囲気での食事や、各教室を巡回しての食品に着目した食育指導などの成果が表れてきたのではないかと思います。

外遊びや運動の項目についても、肯定的な回答がやや低い傾向が見られます。3学期には校内大縄大会もあり、休み時間に多くの子たちが運動場で練習をしています。夏場は気温の関係で外での遊びが難しい時期がありました。3学期は行事も相まって外で遊ぶ姿は多く見られます。今後は気温を見越して行事等を計画し、外で遊ぶ機会を増やしていきたいと思います。

## 学校運営協議会から

- ・「豊かな心の育成」は学校だけでなく、家庭の環境、取組の影響もあると思うのでしっかり取り組んでいくべきだと思う。家庭でのコミュニケーションをより充実させるように保護者も取り組んでいく必要がある。
- ・学校や地域ではどんな時でも事案はある。迅速に対応し、嫌な思いをした子どもたちへのサポートが大切。さらに事案の要因にも目を向け、PTAで地域も共有できることはさせていただき、協力したい。
- ・自分から挨拶してくれる子が多い。強制的に挨拶させようとするのではなく、笑顔を向けて声をかけていく気持ちを大切にしたい。